

平成 22 年 2 月 25 日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名 GMO インターネット株式会社
代 表 者 代表取締役会長兼社長 グループ代表
熊 谷 正 寿
(コード番号 9449 東証第一部)
問い合わせ先 専 務 取 締 役 安 田 昌 史
グループ管理部門統括
T E L 03-5456-2555 (代)
U R L <http://www.gmo.jp>

ソーシャルアプリ開発支援プロジェクト開始のお知らせ 「アプリやろうぜ! by GMO」プロジェクト

平成 22 年 2 月 24 日に発表いたしましたソーシャルアプリ開発支援プロジェクト「アプリやろうぜ! by GMO」につきまして、多数のお問い合わせをいただきましたので、概要をお知らせいたします。

記

当社を中核とするGMOインターネットグループは、ニッポンのクリエイター&エンジニアを対象に支援プロジェクト「アプリやろうぜ! by GMO」プロジェクト (URL: <http://app-yarouze.com>) を発足いたしました。

現在、オープンソーシャル向けゲーム、アプリの市場は急激な成長を続けています。ソーシャルアプリの登場は、プラットフォームのボーダレス化と共にクリエイター&エンジニアがこれまでにない形で活躍できる可能性を秘めています。しかしながら、実際の開発の現場では、優秀な人材こそが受託開発の軛に囚われていたり、サーバー環境の不足、資金難で規模を縮小したりといったケースが見受けられます。

こうしたなか、GMOインターネットグループでは、ソーシャルアプリ・ゲームを開発するための資金や開発環境の提供をはじめ、技術サポート、必要人員のマッチングなどを行い、クリエイター&エンジニアが、世界へ通じるソーシャルアプリを開発できるよう支援するプロジェクトを発足いたしました。

GMOインターネットグループは、創業以来「すべての人にインターネット」を掲げ、これまで、ドメイン、レンタルサーバー、EC支援・Web制作、セキュリティ、決済などの事業を総称する、「WEBインフラ・EC事業」と、SEMメディアなどを提供する「インターネットメディア事業」を中心に、インターネット上の情報量を増やす事業に集中してまいりました。

現在、急激な成長を見せるソーシャルアプリの世界で、これまで培った GMO インターネットグループの経営資源を活かし、コンテンツ制作の支援・提供をすることもインターネットの情報量を増やす一つと考え、クリエイター&エンジニアを対象に支援プロジェクト「アプリやろうぜ! by GMO」プロジェクトを発足するにいたしました。

「アプリやろうぜ！ by GMO」プロジェクトでは、サーバーおよびサーバー運用ノウハウ、決済、セキュリティ、ドメインなどの「WEB インフラ・EC 事業」系のサービス支援と GMO インターネットグループ各種メディアによる告知を実施し、「インターネットメディア事業」を活かした支援を考えております。

なお、詳細につきましては、別添『「アプリやろうぜ！ by GMO」プロジェクト』をご参照願います。

以 上

(別添)

GMO インターネットグループ
総額 3 億円「アプリやろうぜ！」プロジェクト開始
 ～ニッポンのクリエイター&エンジニアに技術・サーバー・人員・資金を提供し
 世界へ通じるソーシャルアプリ開発を支援～

GMOインターネットグループは、ニッポンのクリエイター&エンジニアを対象に総額3億円の支援プロジェクト「アプリやろうぜ！ by GMO」プロジェクト (URL: <http://app-yarouze.com>) を発足いたします。ソーシャルアプリ・ゲームを開発するための資金や開発環境の提供をはじめ、技術サポート、必要人員のマッチングなどを行います。

【「アプリやろうぜ！ by GMO」プロジェクト発足の背景】

現在、オープンソーシャル向けゲーム、アプリの市場は急激な成長を続けています。ソーシャルアプリの登場は、プラットフォームのボーダレス化と共にクリエイター&エンジニアがこれまでにない形で活躍できる可能性を秘めています。しかしながら、実際の開発の現場では、優秀な人材こそが受託開発の軛に囚われていたり、サーバー環境の不足、資金難で規模を縮小したりといったケースが見受けられます。そこで、GMOインターネットグループは、素晴らしきニッポンのクリエイター&エンジニアが、世界へ通じるソーシャルアプリを開発できるよう支援するプロジェクト「アプリやろうぜ！」プロジェクトを発足いたします。

【キックオフカンファレンスの開催】

本プロジェクト始動の第一歩として、ソーシャルアプリのクリエイター&エンジニアにご参集いただき、キックオフカンファレンスを開催いたします。本プロジェクトの説明に加え、ソーシャルアプリの世界に早くから着目していらっしゃる方々にご講演いただきます。

■ 日 時	2010年3月18日(木)19時30分～21時30分
■ 場 所	セルリアンタワー東急ホテル (東京都渋谷区桜丘町 26-1)
■ 登壇者 (五十音・ABC 順)	ウノウ株式会社 代表取締役社長 山田 進太郎様 グリー株式会社 代表取締役社長 田中 良和様 株式会社ディー・エヌ・エー 取締役ポータル事業本部長兼 COO 守安 功様 株式会社ドリコム 代表取締役社長 内藤 裕紀様 ブレークスルーパートナーズ 赤羽 雄二様 株式会社ミクシィ 代表取締役社長 笠原 健治様 (ビデオレター) Exys 株式会社 代表取締役社長 稲富 正博様 GMO インターネットグループ グループ代表 熊谷 正寿
■ ご 招 待	ソーシャルアプリの開発に関心の高いクリエイター&エンジニア 約 200 名 (事前申込制) 報道関係者
■ 参 加 申 込	URL: https://app-yarouze.com/form/entry プロジェクト公式サイトでのキックオフカンファレンスのエントリーフォームよりお申込みください。 応募多数の場合は抽選となりますので予めご了承ください。

※報道関係者の皆さまへは後日、メールもしくは FAX で改めてご案内状をお送りいたします。

【「アプリやろうぜ! by GMO」プロジェクトについて】

〈理念〉

私たち GMO インターネットグループは、創業以来「すべての人にインターネット」を掲げ、インターネット上の情報量を増やす事業に集中してまいりました。現在、急激な成長を見せるソーシャルアプリの世界で、クリエイター&エンジニアの皆さまにオリジナルコンテンツ制作の支援・提供をすることもインターネットの情報量を増やす一つと考え、私たちは「アプリやろうぜ!」プロジェクトの発足にいたしました。次代を担うこれからの作り手にとっての、最初の一步になるように。興味を抱いた実績ある作り手にとっての、新たな種火になるように。志をくすぶらせている作り手にとっての、奮起の機会になるように。「アプリやろうぜ!」プロジェクトが、ニッポンのクリエイター&エンジニアをサポートします。

〈プロジェクト内容〉

新たな才能を持ったクリエイター&エンジニアを対象に、GMO インターネットグループが総額 3 億円を掛けて、開発資金や開発環境、技術サポート、必要人員のマッチングなどを行います。クリエイター&エンジニアがアプリの開発だけに専念できる環境を整えることで、力を存分に発揮していただき、mixi やモバゲータウンのランキング上位を目指すアプリ、オリジナリティのあるアプリ、作り手がきちんと収益を得られるアプリの開発を支援します。

〈支援内容 (5つのメリット)〉

- (1) 開発費 (30 万円×開発スタッフ数×開発期間) を提供
- (2) GMO インターネットグループの持つインフラをパッケージ化し、「GMO ソーシャルアプリ運営キット」として提供
- (3) 必要に応じて、開発・制作に集中できるオフィス、及び人材・技術交流機会の提供
- (4) アプリリリース前後の集客支援・「アプリやろうぜ!」ネットワークの提供
- (5) プラットフォームとの交渉、経営のサポート、将来の海外展開の支援

<プロジェクトにご賛同いただいているメディア様>

●特別協力

ファミ通グループ様



●協力 (五十音)

@IT (アットマーク・アイティ) 様

ASCII.jp 様

ASCII.technologies 様

Web Site Expert 様

Web Designing 様

gihyo.jp 様

CodeZine 様

マイコミジャーナル 様

〈ご賛同メディア様より〉

本プロジェクトにご賛同いただいたメディア様よりメッセージを頂戴しております。

●ファミ通メディア事業本部 コンテンツメディア担当局長 坂本 武郎様

かつてテレビゲームは特別な楽しみでした。ユーザーに愛される中で、その枠組みはどんどん広がり、いまでは日常生活のあらゆるシーンで、さまざまな形で楽しみをもたらしてくれています。ソーシャルアプリは現時点でもっとも新しい枠組みです。そこでしか成しえない新しい表現方法、クリエイターの活躍に胸を躍らせつつ、この取り組みに期待し、賛同し、協力したいと考えます。

●@IT (アットマーク・アイティ) 編集長 三木 泉様

ソフトウェア開発者をはじめとしてITエンジニアの応援・支援を目的に誕生したWebメディアの「@IT」は、技術とアイデアを持った人々に、どんどん活躍してほしいと考えてきました。幸い、最近ではソーシャルアプリやスマートフォン向けのアプリ開発に多くの注目が集まり、ビジネスとして広がりを見せています。この「アプリやろうぜ！」が、参加者にとって世界に羽ばたくチャンスになることを切に願っています。

●技術評論社 クロスメディア事業部部長代理 馮 富久様

技術評論社が発行する各種雑誌およびオンラインメディア「gihyo.jp」では、これまでWeb/インターネットテクノロジーをキャッチアップし続けてきました。本プロジェクトのテーマである「ソーシャルアプリ」は、未来を拓く“新たな潮流”として大変期待しているテクノロジーです。今回、日本のエンジニア・クリエイターたちが持つ“創造力”や“技術力”を思う存分発揮できる機会が用意されることを大変嬉しく思います。エンジニア・クリエイターを応援するメディアとして、本プロジェクトに賛同し協力するとともに、このプロジェクトをきっかけに、今後のWebおよびインターネット業界がさらに発展することを願います。

【プロジェクト関連 URL】

- ◆公式サイト：<http://app-yarouze.com>
- ◆公式 Twitter：<http://twitter.com/appyarouze>

【本プロジェクトに関するお問い合わせ先】

- ◆「アプリやろうぜ！ by GMO」プロジェクト事務局
E-mail：jimukyoku@app-yarouze.com

【報道関係お問い合わせ先】

- ◆GMO インターネット株式会社 グループ広報部 細田・石井
TEL：03-5456-2695 FAX：03-3780-2611 E-mail：pr@gmo.jp

【GMO インターネット株式会社 会社概要】

会 社 名	GMO インターネット株式会社 < http://www.gmo.jp/ > (東証第一部 証券コード：9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表取締役会長兼社長	熊谷 正寿
事 業 内 容	■WEB インフラ・EC 事業

	■インターネットメディア事業
資 本 金	12億7,683万円

以上

